

令和7年度 公開保育 評価報告書(詳細)

実施日:

対象年齢とテーマ:3~5歳児:「遊びを通しての人との関わり」

評価の概要

本公開保育では、子どもたちが主体的に活動へ参加し、遊びを通して人との関わりや協調性を育む姿が見られた。保育者は一人ひとりに寄り添い、丁寧な関わりや工夫を行っており、安心して自己表現できる環境が整えられていた。

一方で、説明や声かけの在り方、個々に応じたトラブル対応については改善の余地が見られる。全体としては、テーマに沿った質の高い保育実践であり、今後のさらなる充実が期待される。

1. アンバサダーによる評価

- 3歳児「じゃんけんであそぼう」
 - じゃんけんを歌にのせて行うなど、子どもたちが楽しんで参加できる工夫が見られた。
 - 以前の「足じゃんけん」を子どもたちが思い出して行う姿から、楽しんでいる様子がうかがえた。
 - ルールを守れず納得できない子に対して、保育者が上手に接していた。
 - 英語活動に先生も楽しく参加している様子が印象的だった。
- 4歳児「かるたあそび」
 - かるたのカードが大きくて分かりやすかった。
 - 「ポテトだね」など身近なものに例え、想像しやすくする工夫が良かった。
 - 待ち時間や移動の際に「カニ歩き」と声をかけるなど、楽しみながら時間を使えるような配慮が感じられた。
 - 支援が必要な子への配慮ができていた。
 - 事前の説明が長いと感じたが、子どもたちがしっかりと話を聞いている姿に驚いた。
- 5歳児「お祭りごっこに向けて」
 - 製作活動において、園児たちが主体的に参加していた。
 - 支援が必要な子に他の園児が声をかけてサポートする姿が見られた。
 - ピアニカの指導で、いきなり弾くのではなく、まず指で練習させるという段階を踏んでいた点が良かった。
 - ハサミを上手に使っており、日頃から道具の安全な使い方に関する声かけがされていると感じた。

2. 参加者アンケートによる意見・感想

- テーマ「あそびを通しての人との関わり」について
 - 遊びの中で起こるトラブルを経験し、自分たちで解決しようとしたり、気持ちの折り合いをつけたりする「関わり」を大切にする保育だと感じた。
 - 楽しく人との関わりを学ぶことが、意欲向上につながる感じた。
 - 各年齢に応じた活動内容で、テーマに沿っていた。
 - 将来社会で生きるための協調性を育むという点で、このテーマは合っていると思った。
- 保育内容・園児の様子について
 - 上手くできない子に友達が声をかけたり、手伝ったりする姿が見られた。
 - 子どもたちが生き生きと、主体的に活動に取り組んでいる姿に感動した。
 - 自分の思い通りにならず泣き出す子がいても、温かい雰囲気の中で気持ちを立て直し、活動に戻る姿があった。
 - 5歳児はピアノの片付けや机・椅子の移動など、基本的な生活習慣が身につけていると感じた。
- 保育者の関わり・工夫について
 - 子どもが主体的に考えられるよう、丁寧な声かけがされていた。
 - 泣いてしまう子にも一人ひとり耳を傾け、丁寧に対応していると感じた。
 - 悔しくて泣いている子の気持ちが落ち着くまで、背中にそっと手を置いて待つ姿が見られた。
 - トラブルの際に、子ども自身で関係づくりができるような促しがあって良いと思った。
- 環境構成・その他
 - 掲示物や用具入れの英語表記など、園内の環境構成に様々な工夫が見られた。
 - 今後の療育等との接続に期待したい。

3. 実施園による自己評価(4歳児「かるたあそび」)

- 準備・振り返り
 - 年度当初からひらがな読みに取り組んだことで、園児が文字に興味を持ち、かるた遊びを楽しめるようになった。
 - 楽しめている子が多かった一方、気持ちの切り替えが苦手で泣いてしまった子への対応に難しさを感じた。
 - ルール説明の際、保育者が意図する答えに誘導するような問いかけが多くなった点を反省している。
- 課題・改善点
 - 大きなかるたは園児にとって使いやすく、取りやすく良かった。

- 事前に保育参観があったため、子どもたちは見られることに抵抗がなく、いつも通りに活動できた。
- 今後は、子ども同士のトラブルに対し、その子に合わせた対応と解決ができるようにしていきたい。